

明治大学知的財産法政策研究所  
「知的財産と国際政策」シンポジウム

# WTOと特許

2012年11月22日  
経済産業省 通商政策局 通商機構部  
国際知財制度調整官 五十棲毅

# パリ条約からWTO/TRIPS協定へ

## パリ条約と特許

- 内国民待遇(2条)
- 優先権(4条)
- 特許独立の原則(4条の2)
- 強制実施権(5条) など

実体的な規定が少ない

WTO/TRIPS協定(1995年1月発効)

実体的な規定を数多く含む

# WTO/TRIPS協定

## TRIPS協定と特許

- 最恵国待遇(4条)
- 特許の対象(27条)
- 与えられる権利(28条)
- 強制実施権(31条)
- 保護期間(33条)
- エンフォースメント(41~61条)
- 紛争解決(64条)

新たなルール  
⇒ 途上国の義務



2001年11月～  
ドーハ・ラウンドの議論

# ドーハ・ラウンドと特許

## ドーハ閣僚宣言と特許関連の議題

(27条3項(b))

- TRIPS協定とCBD
- 伝統的知識・フォークロアの保護
- CBD非整合的な特許の成否
- CBD等対応改正、生命体特許の成否

(30条、31条(f))

- 医薬品生産能力なき国の問題

(65条2項、66条)

- 途上国、LDCの経過期間延長

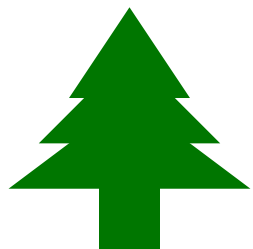
現在の状況

議論中

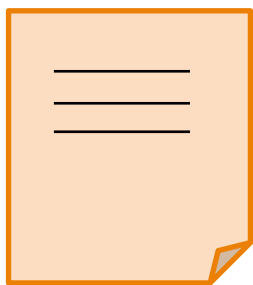
2003年8月に決着

LDCは2013年7月1日  
まで、経過期間延長中

# TRIPS協定とCBD



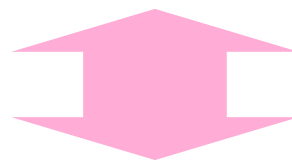
遺伝資源



特許出願

## 途上国の主張

- 法的拘束力のある国際的枠組みを要求
- 遺伝資源の出所等を特許に開示すべき



## 日本など先進国の主張

- 遺伝資源の出所情報と特許性は無関係
- 遺伝資源の出所等の開示義務化に反対

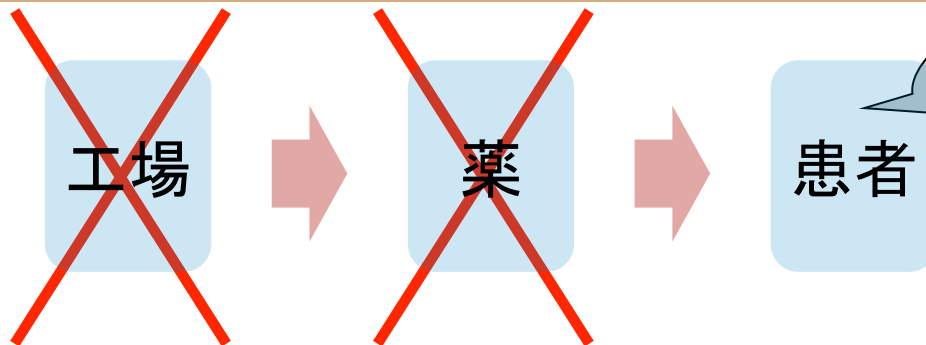
# 医薬品生産能力なき国の問題（公衆衛生）（1）

## 医薬品製造能力が「ある」国



強制実施権を利用して  
国内の患者に薬を供給

## 医薬品製造能力が「ない」国



輸入/輸出？

TRIPS協定31条(f)  
「主として…  
国内市場への供給」

2003年8月、一般理事会の決定（パラ6システム）

## 医薬品生産能力なき国の問題（公衆衛生）（2）

2003年  
一般理事会決定  
（パラ6システム）



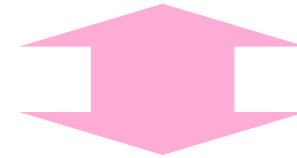
2005年  
TRIPS協定  
改正議定書採択



2008～9年  
カナダがルワンダに  
抗HIV薬を輸出  
  
2012年11月迄に  
45か国・地域受諾  
（未発効）

### インドなど途上国の主張

- パラ6システムに問題有り
- 利害関係者を交えて議論したい



### 日本など先進国の主張

- 問題があるとは論証されていない
- 加盟国間でしっかり議論すべき

# LDCの経過期間延長

## TRIPS協定中のLDC関連規定

- WTO設立協定発効から11年間の経過期間(66条1項)  
(2006年1月1日まで)
- 更なる延長が可能(66条1項)
- 先進国からLDCへの技術移転義務(66条2項)
- 知的財産権分野における技術協力(67条)



2005年11月 TRIPS理事会: 7年半の延長を決定  
(2013年7月1日まで)

2011年12月 閣僚会合: 更なる延長の検討指示(今後検討予定)



# 今後の展望と課題 (1)

## 途上国の特許出願(内国人出願数)

	1996年	2005年	2010年※
■中国	11,628件	93,485件	293,066件
■インド	1,661件	4,721件	7,262件
■ブラジル	2,611件	3,905件	2,705件

(出典) WIPO Intellectual Property Statistics ※インドのみ2009年の出願数

## PCT加盟国数の推移

1996年

87か国

2005年

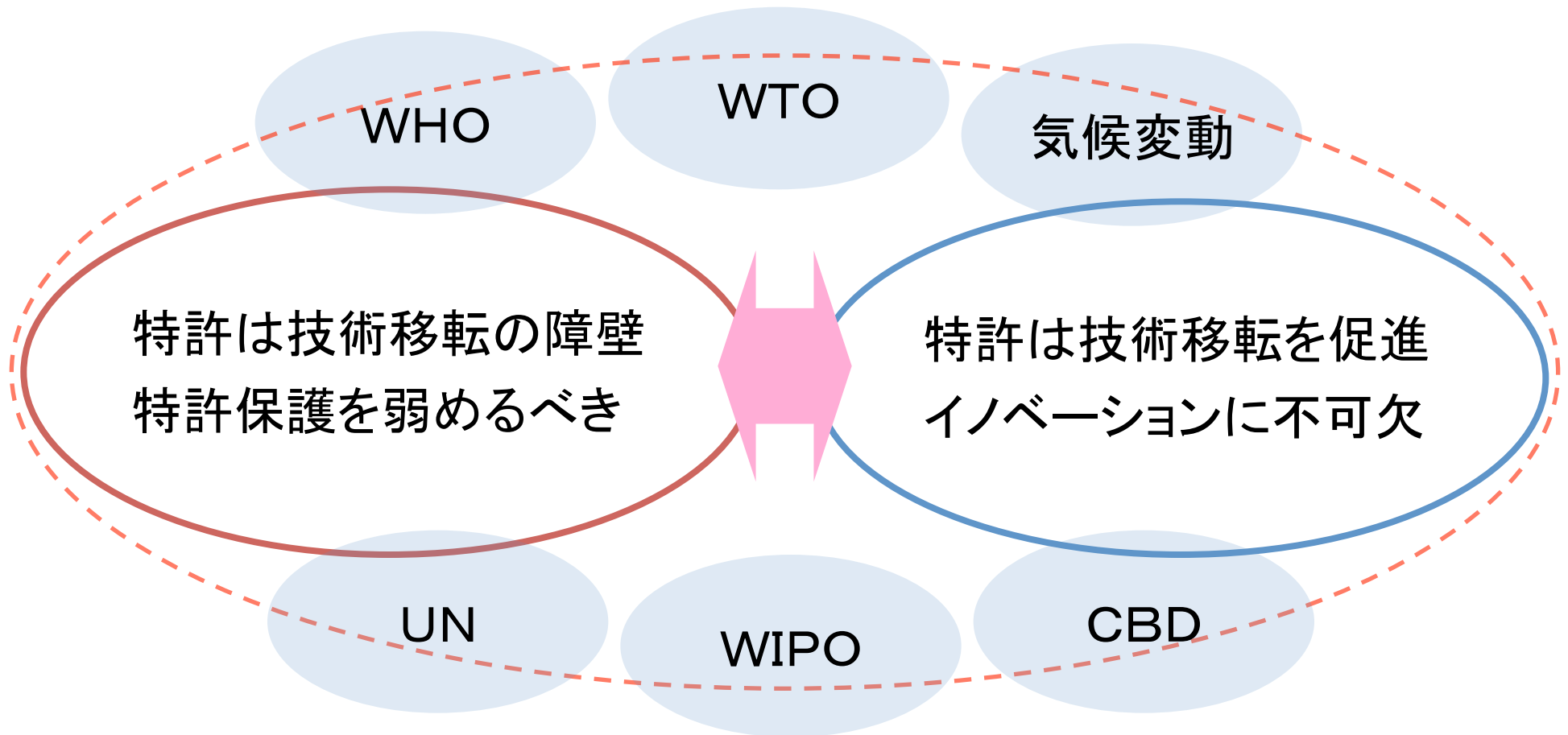
128か国

2010年

142か国

途上国の中にも特許制度に積極的な反応あり

## 今後の展望と課題 (2)



知財の議論がWTO/WIPOから、様々なフォーラムに拡大。  
新たな動き: 米ブラジル提案議題「IP & Innovation」(11月理事会)